

全國農民組合第六回全國大會の状況

全國農民組合は昭和六年の第四回大會以後に分裂、左翼派、右翼派と極めて、大鋭なる對立を続けて来たが、昨年度の大會に於いて、左翼派は七十餘名を動員して「除名解除の即時取消、大會参加の自由」を要求して、本部派と對抗した。然るに、其後は無言のうちに、凄愴な對立を續け、所謂、實踐を遂げて勝利を目指して闘つて来た。而して、今年度の大會直前に至つて再び表面に「農新八號」においてこれに闘争方針を指示し、続いて三月二十五日の「全農改革、社会ファースト」を遂げるため、全農第六回大會の、戰鬥的代議員は、かく戦へ、ソートと奮闘して準備を進めたるも、最近に至つて、北海道、三重に於て大彈壓にあひ、更に全會本部は上田委員長、山口常任、